

職場体験レポート

作成者

内子町立五十崎中学校

2年 氏名：山本 果凛

職場の紹介 内子町役場 総務課 政策調整班 広報・広聴係

創業：平成17年（第1号発行）
住所：喜多郡内子町平岡
特色：広報誌の発行などを行う
従業員：3人

「広報うちこ」を発行し、イベントや町の情報などを町民に伝えています。「ふるさとの香りがする広報誌」を掲げ、お知らせだけでなく、町内の綺麗な景色や住民の暮らしぶりなどを紹介しています。

事業所の写真



こんな職場です！



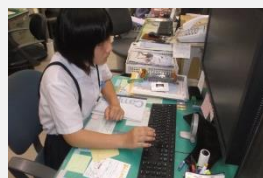
職場で体験したこと

1日目は、広報についての説明を受けました。「なるべく多くの人の紹介をすること」を大事にしていることに驚きました。確かに「広報うちこ」には、たくさんの人の話が載っています。たくさんの人の話や感想を聞くことで、そのイベントなどの会場にいらなくても様子が伝わってくると思いました。それから中学校に行き、今回の職場体験の意義や目的などについて取材をしました。写真も撮りましたが、カメラを本格的に使うのは初めてだったので、しっかり撮れているか心配でした。質問を考えたり、聞いたことをメモしたりするのが難しかったです。

2日目は、文書係で作業をしました。地区別に送る文書をそれぞれにまとめて梱包しました。広報誌も封

筒に入れて封をしていきました。慣れない作業でしたが丁寧にできてよかったです。

最終日は、パソコンで文章を打ちました。写真を選んだりタイトルを決めたりするときはどうしようかと悩みましたが、担当の方にいくつかアドバイスをいただいて文章を完成させることができました。



体験学習を通して

うれしかったこと、うまくできたこと

取材や写真撮影、文書おこしはどれも慣れない作業でしたが、職場の方がいろいろ説明してくださったので、だんだんできるようになり、うれしかったです。特に梱包作業が、体験の中で一番うまくできたと思います。

大変だったこと、失敗したこと

体験した中では、取材の仕事が一番大変でした。インタビューをするとき、緊張してあまり質問できなかったことがあったのが残念でした。この経験をプラスに変えていきたいと思います。

感想

働く人の姿から学んだこと

仕事をする大変さと大切さを学びました。取材をしたことを文章にして、広報誌をつくるのは大変だと思いました。けれども、同時にこの仕事の重要性を知ることができました。

全体を通して学んだこと

一番大事なことは、コミュニケーションをとることだと思います。コミュニケーションをうまくとることは、何にでも役立つと思いました。そして、内子のことをもっとよく知るために、私も「広報うちこ」をたくさん読もうと思います。